



国立病院機構(NHO)宇都宮病院院内広報誌



### 基本理念

私たちは、地域から強く信頼される病院を目指します  
そのために、誠実で前向きで勤勉であるよう努めます

### 目次

20 夏 17  
第44号

広報誌 / 年4回発行

発行：国立病院機構 宇都宮病院  
発行日：平成 29年 7月 1日  
発行責任者：沼尾 利郎

■ 事務部長 宇都宮病院への想い……………	1	■ 「骨・運動器疾患に関する研修会」に参加して……………	4
■ おくすり手帳お持ちですか?……………	2	■ 第2回看護・介護連携懇話会を開催しました……………	4
■ 宇都宮農園の誕生!……………	2	■ ふれあいスポーツフェスティバル……………	5
■ 「看護の日」イベントに参加して……………	3	■ 防災及び消防訓練を実施して……………	6
		■ 第26回医療連携学術講演会……………	6

## 宇都宮病院への想い

本年4月に戸丸事務部長の後任として渋川医療センター（群馬県渋川市）から着任いたしました事務部長の関川と申します。昭和55年に採用され、病院勤務も10施設目、38年目を迎えることとなりました。出身地は日本海の離島である新潟県の「佐渡島」です。観光名所も数多く有り、定かではありませんが、自給自足のできる唯一の島として定年後に移住される方もいらっしゃるかと伺っております。

宇都宮病院には、平成5年7月の国立療養所東栃木病院（河内郡河内町）と国立療養所宇都宮病院（宇都宮市駒生町）との統合時の「東宇都宮病院」で2年9ヶ月間勤務させていただきました。私自身、栃木県には縁があるようで、東京から初めての異動が現在の「とちぎ健康の森」の前身である国立療養所宇都宮病院で、最後の宿舎の住人としてその地を離れたのを大変懐かしく思い出されます。その後、栃木病院（現：栃木医療センター）にも勤務、各施設を異動し、約20年の時を経て再びお世話になることとなりました。建物は当時の面影がまだ残されており、また当時勤務していた職員との再会にも懐かしさを感じると共に、振り返り時の流れの早さを改めて実感しました。

当院は、平成26年11月に病棟等建替整備工事により「北病棟（重症心身障害病棟、手術室、地域包括ケア病棟、呼吸器内科と結核病床のユニット病棟、リハビリテーション室）」が完成しており、栃木県地域医療構想を見据え、現在新たな病棟と外来診療棟を含めた全面建替に向けて、全職員が団結して病院を運営し、地域に貢献しているところです。また、病院の「経営健全化」を目指した取り組みとして策定された平成18年の「病院改革プロジェクト」、平成23年の「前進プロジェクト」から現在「まい進プロジェクト」に着手しており、現在の病院の「礎」となる諸先輩方の御尽力に敬意を表するとともに、引き続き診療部・看護部・メディカル部門等との連携を図りながら、事務局として何が出来るかを常に模索するとともに、恵まれた資産（土地、建物）及び緑豊かな自然環境を活かし、地域の方々とより一層の交流も深めつつ、当院の理念であります「地域から強く信頼される病院」を目指していく所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。



事務部長  
関川 義明



## おくすり手帳お持ちですか？



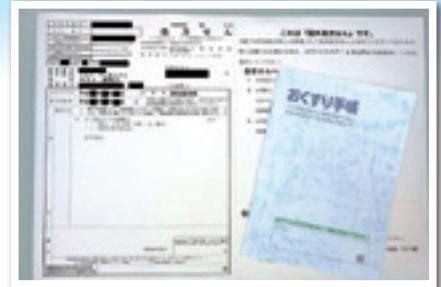
薬剤部 薬剤師 細内 麻里奈

おくすり手帳は現在飲んでいる薬の情報（種類、飲み方など）だけでなく、これまで使用してきた薬についての情報も記録されています。医療機関を受診するとき、災害時など、ご自身の薬の情報を簡単に知ることができます。医療機関を受診した際や処方せんを薬局に出す際に一緒におくすり手帳を見せていただくことで、

- ① これまでにかかった病気・その治療の経過
  - ② アレルギー・副作用歴があって服用を避けた方がいい薬はないか
  - ③ 同じ作用を示す薬はないか
  - ④ 飲み合わせに問題はないか
- などの確認ができ、よりよい治療の選択につながります。

医療機関・薬局ごとに分けず一冊にまとめ、持ち歩くことで「自分の薬の記録」として有効に活用できるようになります。最近では電子版のおくすり手帳もあるようです。ぜひご自身の使いやすいものを探してみてください。

当院でも退院時、薬剤師が入院中の薬の記録としておくすり手帳に記載をさせていただいています。入院時、現在使用中のおくすり手帳だけでなく、ぜひ過去のおくすり手帳もお持ちください。よろしくお願いいたします。



① 処方せんとおくすり手帳は一緒にお持ち下さい



② 副作用歴などの記録もできます

## 宇都宮農園の誕生！

リハビリテーション科 作業療法士 信田 高 祥

突然ですが、当院のリハビリテーション室がどこにあるかご存知ですか？ 平成26年11月に完成した新棟の最上階にあります。

リハビリテーション科は、理学療法士11名、作業療法士6名、言語聴覚士3名、助手1名の計21名が在籍し、日々リハビリテーション室をはじめベッドサイドでリハビリ業務を行っています。その中で、長期療養中の患者さんを対象に「季節感を味わって欲しい」「人との関わりを絶えず持ち続けてほしい」との想いで昨年度から園芸療法を行っています。農業大国栃木県という土地柄か、患者さんから「入院中の楽しみができた」と大変好評でした。そこで、今年は更に多くの人に楽しんで頂ければと考え、「宇都宮農園」をスタートさせました。まずは、夏野菜の代表「キュウリ」「ナス」「トマト」「ゴーヤ」から栽培を行っています。

宇都宮農園誕生から約1ヶ月、野菜の成長を楽しみに、間引きから水やりまで、患者さんの協力を得ながら進めています。昨年度以上に活気と笑顔があふれるリハビリテーション室になっております。そんなリハビリ室に気軽に足を運んでみてください！

患者さんの手作りです！



農園の様子



栽培したキュウリ

## 「看護の日」イベントに参加して

西2病棟 副看護師長 静谷 剛

5月17日、本院主催による「看護の日」イベントが、ヨークベニマル御幸ヶ原店さんの協力を得て行われました。イベントには毎年参加して下さる方や新聞広告を見たり、当日買い物に来て開催を知った方など103名の方の参加をいただきました。

測定コーナーでは、血圧測定や身長・体重・体脂肪測定、重心の片寄りなどを見るフットプリント、毎年人気の高い骨密度測定などを行いました。測定後の結果を踏まえて、医師・看護師・薬剤師・栄養士・ソーシャルワーカー等、専門スタッフからの無料相談が受けられるとあって、列が途切れないほどの盛況ぶりです。参加された方たちの生活習慣の改善や病気の一次予防、健康に関する関心の高さを感じました。

私たちは普段病院の中で、患者さんの治療や看護、相談等に携わっておりますが、この日は私たちが地域へ赴き、イベントを通して多くの方とふれあうことができました。今後も地域の方々が安心して生活できるよう医療を通じてお手伝いできればと思っています。

常日頃から地域の方々とNHO宇都宮病院がより身近なものになるよう、努力していきたいと思っております。



重心測定



健康相談



骨密度測定



血圧測定

## 新しい病棟(環境)で働いてみませんか。

### 療養介助員募集 (常勤職員)

(介護職員初任者研修終了者 または、旧ホームヘルパー2級以上の有資格者)  
業務内容：入院患者さんの身体介助等の業務

是非、職場の雰囲気を見学に来て下さい!

お問い合わせ先 看護部長室 副看護部長 安納 香

TEL 028-673-2111(代) FAX 028-673-6148

E-mail fukukan-3@hosp.go.jp



独立行政法人(NHO)

国立病院機構 宇都宮病院

## 「骨・運動器疾患に関する研修会」を開催して

西1病棟 副看護師長 堀木 知成

平成29年6月8日・9日に、第37回「骨・運動器疾患に関する研修会」を開催しました。この伝統ある研修会に関東信越地区の国立病院機構の施設より25名の看護師の参加がありました。

研修会は、当院より副院長をはじめ、整形外科医師・運動療法士・メディカルソーシャルワーカー・看護師、外部よりケアマネージャーやフットケア専門士などが講師となり、それぞれの立場からチーム医療に焦点を当て、治療から退院後の生活へ向けた支援の講義と技術演習が行われました。研修会終了後のアンケートでは、患者さんが安心して地域に戻るよう退院・療養支援に活かしていきたいという声が多く聞かれました。意見交換会では、軽食を囲みながら、和やかな雰囲気の中で情報交換ができ、有意義な時間を過ごす事が出来たと感じています。

今後も、患者さんにより良い看護を提供するための学習を積み重ね、地域の患者さんから選ばれる病院を目指して頑張りたいと思います。



参加者



技術演習



講義の様子

## 第2回看護・介護連携懇話会を開催しました

地域医療連携室 地域医療支援係長 堀口 恒子

6月22日に地域と「顔の見える」連携強化を図る目的で、「第2回看護・介護連携懇話会」を開催しました。今回は宇都宮中央・西部・南部、高根沢、那須烏山エリアの訪問看護ステーションの看護師・地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所ケアマネージャー46名、職員47名に参加して頂き盛大に執り行われました。

第1部では、地域医療連携部長より地域ケアシステムを構築する上での当院の果たす役割と各科診療科の案内、看護部からは病棟の特徴と看護師長の紹介がされました。第2部では、栃木県地域包括・在宅介護支援センター協議会会長浜野修氏より、当院に対する地域からの熱い期待、要望等についてお話いただきました。限られた時間でしたが、職員がテーブルを回りお話ししたことで、参加者から「職員の皆さんの物腰が柔らかく、身近で親切に感じました」「先生方や看護部の方とフレンドリーに意見交換ができて大変満足です」等の好評価を頂きました。今後も患者さんが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう「顔の見える連携」・「心通う連携」を推進していきたいと思ひます。



浜野会長



意見交換会



増田地域医療連携部長

# ふれあいスポーツフェスティバル

療育指導室 保育士 深澤 仁美

5月24日・25日の初夏を思わせるような汗ばむ陽気の中、重症心身障害病棟の利用者さんを対象にスポーツフェスティバルが北病棟療育訓練室で行われました。このフェスティバルは、医師・看護師・療育指導室員・特別支援学校教諭が実行委員となり、試行錯誤を重ね企画立案し、同時にご家族の協力も得ながら毎年行っています。今年度の競技内容は、借り物競走・ボール回し・箱崩し・仮装でした。聞き慣れない競技もあるかと思いますが、職員間で話し合い利用者さん一人ひとりの個性や特徴を生かせる実施方法を考えた競技になりました。普段の療育活動から少しずつ練習を重ね、当日に備えました。本番では手に汗握る熱戦に応援にも力が入り、職員が選手よりも前に出て応援していたり、出場選手を置いてご家族だけが前に出ているなどほほえましい光景もあり、終始和やかな雰囲気の中で実施することができました。その中でも、スポーツフェスティバルの見所といえば毎年恒例になっている「準備体操」です。今年は、療育指導室長を始め、ご家族や学校教諭が懐かしい体操服に身を包み、全力でラジオ体操を行い、会場中が笑いの渦に包まれました。

昼食では栄養管理室に協力を得、普段あまり口にすることのないパン粥やオムライスなどの特別食を作っていただきました。蓋を開けると会場からは「わぁー」という感嘆と共に「おいしそう」という声があがりました。利用者さんにも笑顔が溢れ、パクパクとおいしそうに食べている様子が見られました。行事を行う中で、参加している全員が笑ったり、感動したりできることが良いところです。

開催に際しましては、利用者さんの介助や昼食準備、競技準備など多くのボランティアの皆様にもご協力いただきました。たくさんの方々の協力や声援があるからこそ、毎年実施していけるのだと思います。本当にありがとうございました。

また来年も利用者さん一人ひとりが主人公になれるような競技を考え、利用者さんやご家族の皆様と一緒に楽しい時間を過ごせるよう頑張りたいと思います。



上手に紐をひっぱり、選手宣誓をしました



仮装でピーターパンとティンカーベルに変身！



参加者全員での準備体操

## 防災及び消防訓練を実施して

庶務班長 長谷川 克

去る5月30日に平成29年度の防災及び消防訓練を実施いたしました。

今回の訓練は、出火場所を西病棟2Fの配膳室とし、地震が原因で発生した電気火災からの避難という想定のもと実施いたしました。



地震体験

訓練に先立って開催した会議では、出火場所が神経内科病棟であり人工呼吸器装着者の避難方法などの指摘を受けたため、資料の再考を行いました。訓練当日、宇都宮中央消防署立ち合いのもと、訓練はエアーストレッチャーによる搬送訓練など予定どおり進行していきましました。終了後、宇都宮中央消防署の方から厳しくも愛情ある講評をいただきました。

その後、消防署員の指導のもと、主に新人職員を対象に消火器使用訓練、地震体験車での地震体験を行いました。特に、地震体験は阪神・淡路大震災同程度の揺れを体感できるもので、地震体験車に搭乗した職員は貴重な経験をすることができたのではと思われました。

最後に、準備面で反省すべきところが多々ありましたが、訓練実施にご協力いただきました関係者の方々に心よりお礼申し上げます。



消火訓練



避難訓練

## 第26回医療連携学術講演会

副臨床検査技師長 松井 孝男



森澤雄司先生

平成29年6月27日に宇都宮病院第1会議室にて「第26回医療連携学術講演会」が開催されました。感染症に関する知識の習得を目的として、参加された方々は主に感染症の診断、治療に携わっている医師や医療スタッフ54名、院外20名(医師13名)の方にお集まり頂きました。

一般講演では私が「当院における抗酸菌検査の動向」について講演いたしました。内容は(1)当院の抗酸菌の検査手順について(2)抗酸菌の検出状況について(3)非常に稀なNTM症の一例について、報告させて頂きました。肺結核症は長期的には減少傾向に推移している一方、有効な治療法が確立されていない肺非結核性抗酸菌症はここ数年間で急増しており、さらなる対

策が今後の重要な課題と話しました。

特別講演では「医療従事者職業感染防止のための地域ネットワーク」(HIV暴露後予防薬を供給するための栃木県モデル)について、自治医科大学付属病院感染制御部部長の森澤雄司先生よりご講演を頂きました。内容は医療従事者の職業上の暴露に対する管理にはじまり、HIV感染予防薬の栃木県と仲介病院を含めた受け払いシステムの概要、自治医科大学付属病院の患者サポートセンターの医療連携システムについてご講演頂き、「断らない親切的な医療」をテーマとして2016年9月に患者サポートセンターを設置し、地域全体で連携・機能分担をする事によって患者様を支える活動についてお話しを頂きました。

当院は感染症法の結核指定病院であり、慢性呼吸器疾患(結核を含む)に関する専門医療を特色としている医療機関であるため、今後も様々な講演会を開催して地域医療に貢献できるように職員一同努めていきたいと思ひます。



松井副臨床検査技師長

## 編集後記

いよいよ夏ですね。夏バテしないためには、食事が大切です。

この広報誌のタイトルでもある「鮎」は、夏～秋まで美味しく頂ける栄養価の高い魚です。ビタミンAを多く含み、活性酸素を抑える働きがあり動脈硬化や心筋梗塞など生活習慣病の予防にもなります。また、皮膚や粘膜の細胞を正常に保つ働きがあり、免疫力を高める働きもあります。塩焼きやフライなどで丸ごと召し上がってはいかがでしょうか。また、休養も充分とって思い出に残る楽しい夏を過ごしたいですね。

北4病棟 看護師長 相原 久子



【千畳敷カール(長野県)】

表紙撮影：看護部長 杉崎けい子

# 外来診療担当医表

(平成 29年7月1日～)

診療科名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
総合内科	午前		南 建輔	南 建輔	沼尾利郎(第2・4・5週) 志水太郎(3週)	志水 太郎 (第1・2・4・5週)
糖尿病・内分泌内科	午前	佐藤 稔	菊池 朋子	平尾菜々子	佐藤 稔	森 豊
	午後	佐藤 稔		平尾菜々子	佐藤 稔	
神経内科	午前	作田 英樹			伊藤 雅史	
	午後	作田 英樹			伊藤 雅史	
物忘れ外来(午後・予約制)				伊藤 雅史		
消化器内科	午前	常見美佐子	菅谷 洋子	佐久間 文	菅谷 洋子	前田 光徳
	午後	常見美佐子	菅谷 洋子	佐久間 文	菅谷 洋子	前田 光徳
呼吸器内科	午前	沼尾 利郎/ 梅津 貴史	野村 由至	安西真紀子	梅津 貴史/ 藤松 孝旨	野村 由至/ 池田 直哉
	午後	沼尾 利郎	田下 浩之	安西真紀子	田下 浩之/ 藤松 孝旨	池田 直哉
禁煙外来(保険適用) (午後・予約制)					藤松 孝旨	沼尾 利郎
リウマチ膠原病内科				高村 雄太		
小児科	午後		影山さち子 (予防接種) [予約制]		影山さち子 子供療育相談ルーム [予約制](2・4週)	
外科	1 診	増田 典弘	芳賀 紀裕	滝田 純子	増田 典弘	滝田 純子
	2 診	尾形 英生	柴崎 雄太	芳賀 紀裕	尾形 英生	芳賀 紀裕
	3 診					田嶋 公平 (呼吸器外科)
整形外科	1 診	田中 孝昭	茶藪 昌明	田中 孝昭 (第2・3・4週)	茶藪昌明(第1・3・5週) 石川義久(第2・4週) (初診のみ)	熊谷 吉夫
	2 診	小牧 宏和		秋山昇士(第1・5週) 茶藪昌明(第2・4週) 熊谷吉夫(第3週)	小牧 宏和 (第1・3週)	秋山 昇士
リウマチ科 (整形外科1診)				熊谷吉夫(第1・5週) 田中孝昭(第2・3・4週)		
リハビリテーション科				茶藪 昌明	茶藪 昌明	熊谷 吉夫
装具外来		田中 孝昭				熊谷 吉夫
側湾症外来					茶藪昌明(4週)	
障害者歯科						石川 博之

● 下記は入院患者さんを中心として診療しております。

診療科名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
循環器内科	午前		田所寿剛(1.3.5週) 伊藤 致(2.4週)	鈴木菜穂子		伊藤 致(2・4週)
	午後	渡邊 諒 (15:00~16:30)	田所寿剛(1.3.5週) 伊藤 致(2.4週)	鈴木菜穂子		伊藤 致(2・4週)
腎臓内科	午後				岡田和久(2・4週)	
歯科		渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子
眼科(午後)						松原 忠之
皮膚科(午後)				齋藤 友紀		
耳鼻咽喉科(午後)		永島 祐美				

## 外来受診案内

- 初診及び予約のない方の外来診療受付時間は、8:30~11:00迄です。  
緊急で来院される場合は、電話でお問い合わせ下さい。
- 物忘れ外来につきましては、地域医療連携室にて電話での予約を受け付けております。
- 地域医療連携室 TEL 028-673-2374(直通) FAX 028-673-1961(直通)  
担当(ソーシャルワーカー)：永山・畑野・吉田・市村・高德(内線133)



独立行政法人(NHO)

国立病院機構 宇都宮病院

〒329-1193 栃木県宇都宮市下岡本町2160  
TEL 028-673-2111 FAX 028-673-6148  
<http://un-hosp.jp/>